



2面	宇宙人は確実にいる
3面	手塚塾—竹内オサムさん
4面	つなぐ平和
6面	ニュースアラカルト
7面	新聞ワークシート
8面	英語—ウクライナに平和を

マナちゃん ナビくん

毎週日曜発行

発行所
神戸新聞社
 神戸市中央区東川崎町1-5-7
 078-362-7056
 購読お申し込み 0120-16-8349

プログラミングで全国に挑戦!!



ひめじ しごうがくいん 6年 しゃくとう みすか 赤藤未吹芽君

オリジナルのプログラムで作ったアプリや映像、ロボットなどの作品を競う「全国選抜小学生プログラミング大会」が6日、オンラインで開催されました。地方大会を勝ち抜いた37組が作品を動画で発表し、兵庫県からは姫路市立四郷学院6年の赤藤未吹芽君(12)が代表として出場しました。

(小尾絵生)

オリジナル作品、テーマは「SDGs」

赤藤君は、地元のプログラミング教室「Mirai道場」(姫路市)に月2回、通っています。もともとブロックが好きで、小1からロボットの組み立てをするクラスに参加。小4からはプログラミングを学んでいます。

プログラミングで面白いのは「自分の作ったプログラムで、実際に何かを思った通りに動かせるところ」だそう。赤藤君は、パソコン画面でキャラクターを動かすなどしてゲームを作るんだって。

全国大会に出したゲームの作品テーマは、国連が掲げる持続可能な開発目標「SDGs」。県大会に提出した作品を修正し、さらにパワーアップしました。

SDGsは、誰もが住みやすい地球にするための17の目標のこと。例えば「貧困をなくそう」「質の高い教育をみんなに」といったふうに。赤藤君は自分で考えた「宇宙もきれいに」という目標を加え、それぞれの目標に関係するようなミニゲームを18個も考えました。

ボタンを押して貧しい村に学校を建てるゲームや、宇宙ごみを打ち落とすシューティングゲームなどを作ったよ。「登場するキャラクターの

▲ 全国大会に出した作品について説明する赤藤未吹芽君(姫路市飾磨区今在家6、Mirai道場)

まず 貧しい村に学校建設など、ミニゲーム18個

デザインなども自分で考えるのが、大変だった」と振り返ります。

同教室で赤藤君を指導する藤森悠司さん(34)は「遊び心があり、自分のアイデアを入れる場面で本領を発揮する」と話します。

赤藤君は普段はパソコンに触らない日も多いけれど、全国大会に向けて冬休みは作品作りに集中し、夜遅くまで頑張ったそう。途中でデータが消えた時には「もう間に合わない!」と泣きながら作業したことも。そんな努力をして臨んだ全国大会では「みんなの未来」を受け、「ほかの参加者のレベルが高く、参考になるアイデアもあって面白かった」と喜んでいました!



赤藤未吹芽君が作ったプログラムの一部。右側が宇宙ごみのシューティングゲーム画面